

現場改善の進め方

スキップコンサルティング

代表 鎌田 敦之

本セミナーの狙い

- ◆ 企業の経営者から、「改善活動の必要性はわかっているつもりなんだが、中々定着しない。」「整理整頓はできているんだが、この次に何をやれば良いか、どのように進めればよいかかわからない」との発言を耳にします。
- ◆ 改善活動を活性化したいのにできないもどかしさを日々感じておられる経営者や管理職の方が多いことが察せられます。
- ◆ 整理整頓から始まる5S3定、ムダ取り、IE、QC活動、VA/VE、改善に関する単語は多く、言葉としては知っているが、具体的にどうやれば良いかが解らない。
- ◆ 本セミナーでは、このようなお悩みをお持ちの経営層、管理職の皆様に、改善活動の具体的な進め方についてご説明します。

セミナーの狙い

「ベクトルを合わせて改善活動を推進する」

- ◆ 改善活動も一気に高みを目指すのではなく、段階を踏んで改善のレベルを高めていきます。

製造現場における改善活動の現状(問題点)

- ◆ 小集団(チーム、班)単位での改善活動はやっているが、マンネリ化
- ◆ 活動の勢いは時により活発になるが、総じて停滞
- ◆ 従業員の意識が乏しい
 - 言われればやるが、積極的ではない
- ◆ 改善活動が経営成果につながっているか分からない
- ◆ 計画、目標は立てるが、進捗・成果の管理ができていない
- ◆ 期末評価基準が不明確で、従業員への成果配分が不十分
 - 何のための改善かがあいまいになりモチベーション低下
- ◆ 全員参加は建前で、結局はリーダーがやることになる
 - リーダーになるのは運が悪い
- ◆ 経営層は、改善活動の必要性は認識しているが、やり方が解らない

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

改善活動の目的

改善の目的は:
「改善活動を通じて、現場の知恵・アイデアを経営成果に反映させること」

改善活動は業務
事業成績に反映

昔は自主活動と言っていた時代もあった

現状は反映していないケースが多い

基盤改善・基礎改善で留まっている

改善の目的は:
「改善活動を通じて、自己実現のステップにすること」

課題に気づく力
対策に到る力

知識、考え方

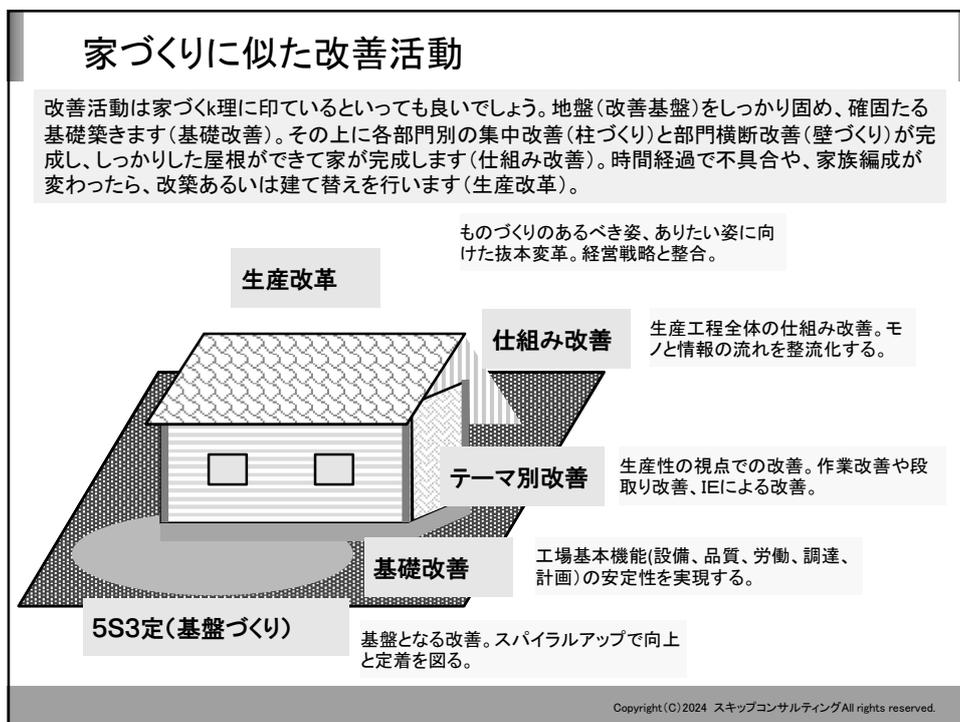
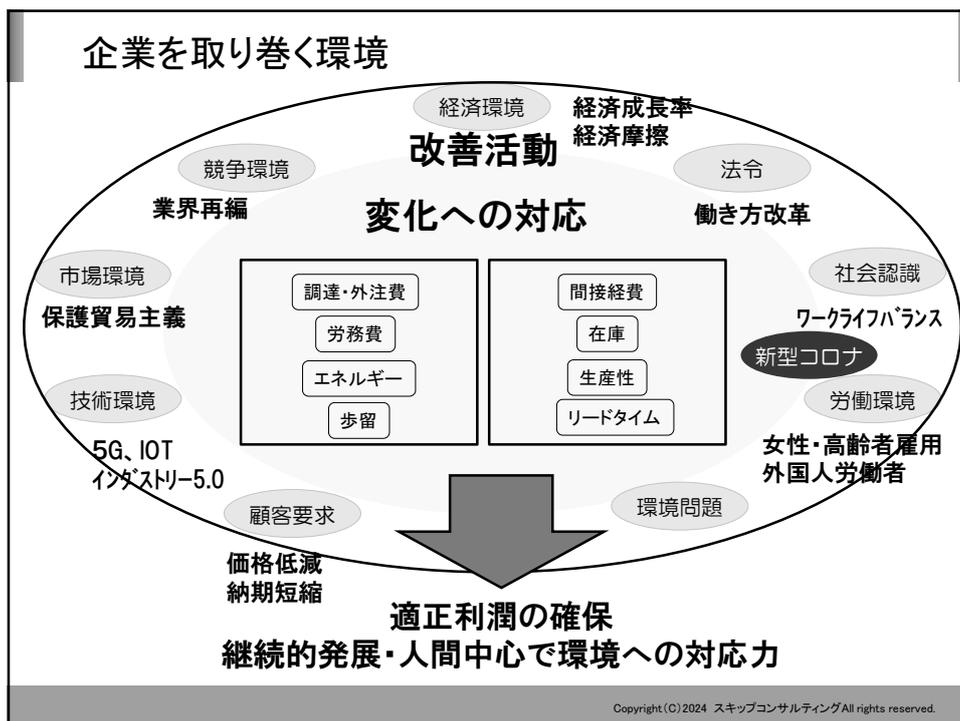
方法論、ツール

管理者による仕掛け

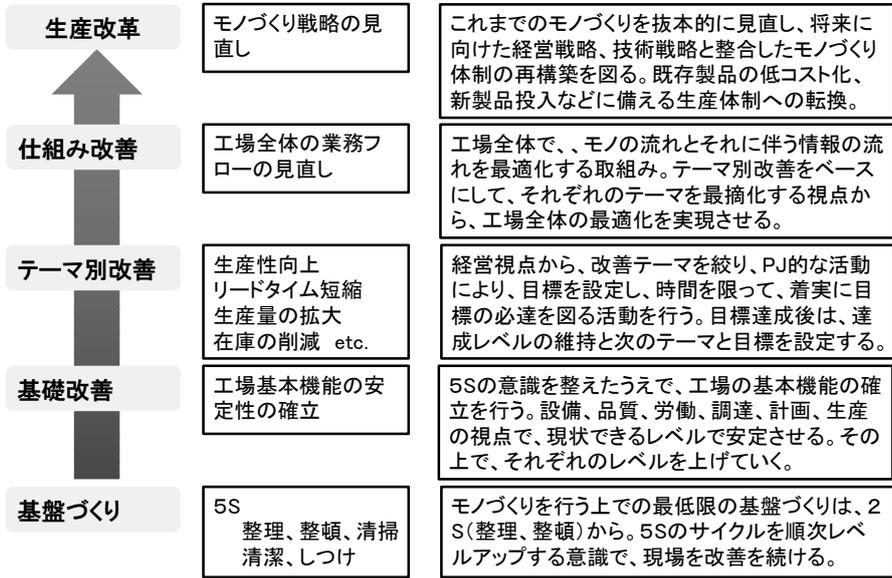
日常から自ら課題を見出し、解決策を検討・実行できる

従業員の実行する力

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

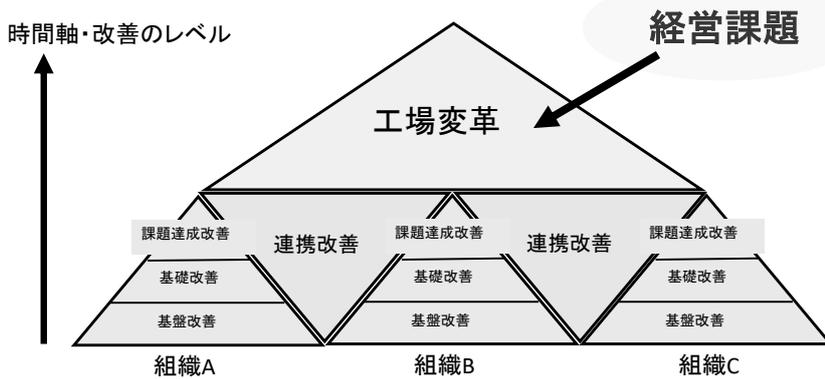


具体的に何をやる？



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

個別改善から全体最適へ



経営課題に応じて様々な職場間連携や、全体改善活動(PJ的な改善)を推進します。それにより改善活動が経営成果に直結し、成果配分も「見える化」されます。

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

改善活動を阻害する要因と対策

改善活動を成功に導く3要素として、トップ・工場長の強い意志、目標達成のための道筋と手順、従業員の強いモチベーションです。3つが揃えば大きな成果につながりますが、2つではそれなりの成果にとどまり、1つでは成果を得るのは難しいと言えます。

トップ・工場長の決意不足

- ①活動目標、目的を明確にする
- ②設備、人、技術に対する適切な投資判断
- ③全体に対するバックアップと時に応じた指示・命令
- ④活動の推進者に対する正当な評価と認定

活動のベクトルが揃わない

- ①活動の目標、目的、到達イメージを共有する
- ②部門(部分)最適ではなく全体視点で行動を意識
- ③活動のマイルストーンを設定し、指標でモニターする
- ④定期的なチェック/是正を行い、PDCAをまわす

マネジメント力が不十分

- ①活動の準備段階で、各課題の時間軸と達成軸を明確にする
- ②活動の達成基準と部門ごとの評価基準を決める
- ③指標による管理を行い結果相応の評価で報いる

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

まとめ

- ◆ 改善活動の目的
 - 改善活動を通じて、現場のアイデアを経営成果に反映させること。
 - 改善活動を通じて、自己実現のステップにすること。
- ◆ 改善活動は、変化に対応するために行う
- ◆ 改善活動を阻害する要因
 - トップ・工場長の決意不足
 - 活動のベクトルが揃わない
 - マネジメント力が不十分
- ◆ 経営課題に沿った「狙った」改善を活動として意識する
- ◆ 改善活動にはステップがある
- ◆ 基盤作りから始まり、生産改革まで段階を踏んで改善を継続する

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.